

体協だより

第32号

平成27年11月25日

ジュニアアスリート育成事業

競技強化部が実施する「ジュニアアスリート育成事業」には、今年21名の小学生達が参加しています。

日頃は各スポーツ少年団やクラブで活動する選手ですが、月に2回福野体育館に集まりトレーナーの実技指導や、栄養学、メンタルトレーニングなどの講習を受けています。



ゴールデンエイジと呼ばれる9歳から11歳の時期は神経系統が著しく発達し、教わった動きをすぐに習得できるアスリートにとっては最も重要な時期です。

今だからこそ必要な専門的指導を受けてもらい、南砺から世界へ羽ばたくアスリートを育てていきたいと思っています。

本事業は、市内の小学5年生と6年生を対象として、毎年4月に学校を通じて案内を配布しています。

平成28年度もたくさんの方のジュニアアスリート達の参加をお待ちしています。



城端綱引きクラブ

文部科学大臣表彰を受ける!



10月9日に文部科学省から平成27年度の生涯スポーツ優良団体表彰を受けました。これは、競技成績はもとより日頃の地域との結びつきが評価されたもので、皆様方と共に喜びたいと思います。この榮譽に励み、今後の益々のご活躍を期待します。

東日本綱引選手権大会に於いて3連覇達成!

9月6日に長野県ホワイトリングで開催された大会において、昨年の南砺市大会に続いての連覇を果たしました。苦しい戦いの末、全日本大会への出場権も獲得しました。この勢いを継続し今後の4連覇、5連覇に向けて、邁進していかれることでしょう。

富山県チーム(城端綱引きクラブと高岡市の合併チーム)

和歌山国体に参加(公開競技)準優勝!

国体において、公開競技ではあるが綱引き種目が開催されたのは初めてです。

全国9ブロックの代表に地元和歌山を加えた10チームで優勝を争いました。



平成27年度

公益財団法人富山県体育協会表彰 特別表彰

前南砺市体育協会会長

武田 和一氏

富山県体育協会の理事又は加盟団体の会長、副会長、理事長(理事長を置かない団体においては、理事長にかわる専務理事等の役員)として通算10年以上在職し、その功績が顕著と認められる方に贈られます。

平成27年度

富山県スポーツ少年団表彰 感謝状

前南砺市スポーツ少年団 本部長

伊藤 満夫氏

県少年団役員を通算5年以上10年未満で退き、その功績が顕著と認められる方に贈られます。



日本スポーツ少年団顕彰 <市町村スポーツ少年団>

南砺市スポーツ少年団

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある市町村スポーツ少年団に贈られます。

第27回 たいらクロスカントリー大会

7回 たいらクロスカントリー大会



去る8月23日に616名の参加選手の下、第27回たいらクロスカントリー大会が盛大に開催されました。当日は、例年に比べ涼しさを感じる良好のコンディションでした。また、昨年は熊による人身事故が試走中に発生しましたが、今年はそういう報告もなく、一安心しております。

今回よりたいらスキー場を臨時駐車場として、会場周辺に駐車できない方々のために、シャトルバスを用意したの

ですが、初めての試みで多少の混乱が発生し、一部の選手にご迷惑をおかけしたことを反省しております。次回からは、このようなことがない様、留意してまいりたいと思っております。

無事に大会が終わり安堵しているところではありますが、多数の参加選手から好評を得ており、来年も今年と同様に、多数の選手の参加と大会の成功を願って止まないと共に、関係各位に感謝申し上げます。

平成27年度

富山県中学校駅伝競走大会

男子32回
女子24回

城端中学校 男女アベック入賞!!

平成27年度富山県中学校駅伝競走大会が10月3日(土)に富山県総合運動公園陸上競技場およびクロスカントリーコースで開催されました。秋晴れの中、市内の中学校の代表者が、一本のたすきに仲間達の思いをのせ、健脚を競いました。

男子では、過去9度の優勝経験がある城端中学校が、1区の長尾君で区間賞を獲得。4区までトップを譲りませんでした。終盤、逆転を許し5位。女子も城端中学校が、粘り強く入賞ラインを維持して走り、アンカーの境さんが10位でゴールしました。

5位に入った城端中学校男子チームは、11月23日(祝月)に長野県松本市広域公園陸上競技場およびクロスカントリーコースで開催される北信越中学校駅伝競走大会に出場します。



市内中学校の結果

城端中学校	男子 5位	女子10位	平 中学校	男子45位	女子59位
福野中学校	男子15位	女子18位	吉江中学校	男子47位	女子46位
福光中学校	男子23位	女子35位	井口中学校	男子54位	女子60位
井波中学校	男子32位	女子44位	利賀中学校	男子DNS	女子29位

協会紹介

上平地域体育協会



上平地域体育協会は、地域内の体育大会に関して、3年前から老若男女が一人でも多くの住民が参加して頂けるよう多くの企画会を開催してきました。

そもそものきっかけ

は、長年5区で分けていたチーム編成を3区に統廃合することになったことが発端でした。

当協会では、3区制になったから「私が居なくても人はいるだろう」の心理に住民が陥ってしまうのではないかを懸念し、スポーツ推進委員さん方のご協力を得て新競技の企画から試走まで検討を続けてきました。

その結果、今年の第51回大会は穏やかな天候の下、10月10日(土)に開催され、住民同士が健康的に和気あいあいとふれ合うことができました。

今後参加者数向上に向けての研究は続きそうです。



南砺市テニス協会

こんにちは、南砺市テニス協会です。

私たちは、福光テニスクラブ、福野テニスクラブ、井波テニス協会と一緒に活動している団体です。年間4つのテニス大会を運営しています。

レベルも様々で、初心者から富山県トップレベルの選手まで、年齢も10代の若者から70代まで一緒に活動しています。秋に行われる「南砺市オープンテニス大会」や「ステップアップジュニアテニス大会」には、富山県内全域の他、石川県からの参加もあります。

錦織圭君の世界的な活躍でテニス人気が高まっています。皆さんもラケットを持って始めてみませんか？



南砺市バレーボール協会

今年8月2日(日) 福光体育館において、元全日本チームの三屋裕子さん、井上謙さん、多治見麻子さんをお招きして、バレーボールコーチングキャラバン「バボキャラ2015in南砺」を開催しました。

「バボキャラ」では、元全日本選手が地元高校生に指導方法をコーチし、今度はその高校生が地域の小中学生にコーチとなって基礎指導を行います。技術的な指導会としてよりも、教えることの難しさや伝わったときの喜びを感じる姿、そして地域の先輩と楽しそうに「プレー」又は「練習」をする子ども達の姿に、バレーボールを通じての地域の一体感を感じることができました。当日は大変な猛暑となりましたが、けが人も無く、子ども達の笑顔とお兄さんお姉さん達を見るキラキラした眼が印象に残る活動となりました。

～南砺路を駆け抜ける～



小学生の部は城南屋内グランドからスタジアムへ回る周回コースで行われ、沿道では家族や友人が追いかけて声援を送っていました。ゴール後にはお楽しみ抽選会が行われ、番号を呼ばれた児童が笑顔で品物を受け取っていました。中学・高校一般の部は城端市街地を中継するコースで、男子は6区間20.2キロ、女子は4区間10.1キロを市民の声援を受けながらたすきをつなぎゴールを目指しました。

第7回 南砺市駅伝競走大会

10月25日城端地域を舞台に「第7回南砺市駅伝競争大会」が開催されました。市内外の中小高校一般合わせて54チームが秋空の下タスキをつなぎ駆け抜けました。

さあ走ろうタスキで結ぶまちと村

第33回 富山県駅伝競走大会

【男子選手】

部門	選手氏名	学校名・所属
一般	高瀬 裕行 山崎 崇史	富山千抽出荷組合連合会 山崎木工(株)
高校	早川 涼介 小千田恭輔 松本 竜河 定村 壱 堂口 琉	高岡高校 南砺福光高校 砺波高校 砺波高校 富山高校
中学	長尾 大輝 片山 翔太 谷崎 章文 石崎 陽来 高田 道希	城端中学校 城端中学校 城端中学校 城端中学校 平中学校

【女子選手】

部門	選手氏名	学校名・所属
一般	堀 由季 山岸 陽子	砺波東部小学校教諭 庄川沿岸用水土地改良区連合
高校	稲塚 未知 小西 未菜 佐々木みのり 石井 祥子 藤田 笑佳	南砺福光高校 南砺福光高校 南砺福野高校 南砺福野高校 南砺福野高校
中学	稲塚 麻衣 境 舞香 大塚 明実 館田英里香 真井樹里愛	城端中学校 城端中学校 福光中学校 吉江中学校 平中学校



県庁前から高岡読売新聞社前を往復する18区間、42.5キロの伝統コースで開催される県駅伝競走大会。昨年より順位を上げようと監督、選手は力をあわせて大会に臨みました。駅伝は陸上の中での団体戦。タスキ1本を18人で走ります。今年は6位。

がんばってくれた選手の皆さん、本当にありがとうございました。

今年で4年目を迎えた小学生駅伝競走大会。富山県庁前をスタート・ゴール、12郡市による小学生5・6年生男女混合チーム10名が県庁周辺900mを男女交互に周回する駅伝です。スタート前、雨も上がりちょうど駅伝には絶好の天気になりました。記録更新をめざし、力走していました。今年は5位。来年も入賞目指して頑張ってください。

富山県小学生駅伝競走大会

Team NANTO 5位入賞



【男子選手】

氏名	小学校名
岡本 虎太郎	福野小学校
高田 峻輔	福野小学校
若林 拓哉	城端小学校
高田 誠史	井波小学校
井口 長洋	福光東部小学校
杉本 裕貴	福光東部小学校
藤本 優生	福光中部小学校

【女子選手】

氏名	小学校名
酒田 真衣	福光中部小学校
湯浅 彩夢	福光中部小学校
城宝 陽菜子	福野小学校
古瀬 怜那	福野小学校
杉下 愛華	井波小学校
三島 柚乃	城端小学校
宮崎 美樹	上平小学校

南砺市サッカー協会

南砺市サッカー協会では、南砺市におけるサッカー競技普及のため様々な活動を行っています。中でも小学生年代の強化を目的とした南砺市トレセンは、将来を担う逞しい選手を育成する大切な事業として力を入れています。また昨年9月には、協会設立10周年を記念して「南砺市サッカーフェスティバル」を開催しました。当日は500人余りの参加者を得て大いに盛り上がり、南砺市にもサッカー文化が着実に根付いていると確信しました。

日本サッカー協会は2005年に「2050年までに、1.サッカーを愛する仲間(サッカーファミリー)を1,000万人にする。2.FIFAワールドカップを日本で開催し、日本代表チームはその大会で優勝チームとなる。」と宣言しています。南砺市サッカーファミリーもこのJFA2005宣言に寄与できるように、今後も一丸となって活動していきたいと思います。



南砺市卓球協会



南砺市卓球協会では合併以来、南砺市ラージボール卓球オープン大会を毎年開催しています。ラージボール卓球とは1998年日本卓球協会が考案し、ボールは従来のボールより大きく、重さは軽い。大きくて軽い分だけ空気抵抗が大きく、ボールの速度や回転も減ることで初心者や高齢者でも楽しめるように工夫されている競技です。

大会ではラージボール卓球愛好家の競技力向上と広く交流を深めることを目的とし、11回目の本大会は県内115名、県外より100名に参加いただき、シングルス・ダブルス各年代7部門に分かれて熱戦が行われました。また運営面においても約50名の協会会員が準備から当日進行までサポートをしており、参加者より大変好評をいただいております。

南砺市陸上競技協会

当協会では強化・競技・審判・駅伝の4つの専門部を設けて大会運営やジュニア育成等を行っております。例年行われる行事として6月に南砺市民体育大会が小矢部市の陸上競技場で開催されます。参加人数は例年300人前後で会場は大いに盛り上がります。

7月の小学生陸上県大会で南砺市代表小学生が上位入賞できるよう練習会や記録会を実施しています。10月の南砺市駅伝競争大会は第7回を数え、今年は54チームが健脚を競いました。11月の富山県駅伝で南砺市チームが上位入賞できるよう練習会を実施しています。

競技人口や審判員が減少傾向にあるので、今後はその対応が課題となっております。



多度津交流



平成27年7月25日(土)～27日(月)まで「第21回多度津町スポーツ少年団交流会」が南砺市福野地域にて開催されました。交流期間中は天候にも恵まれ、スポーツを通じて交流を深めることができ、貴重な経験となりました。3年周期の同交流は、来年度は交流がない年、再来年度は多度津町訪問の年となります。



常滑交流



8月22日・23日の両日、福光支部スポーツ少年団が愛知県常滑市を訪問し、常滑市スポーツ少年団と交流をしました。

この交流、過去3回連続で雨に見舞われ思うような交流ができませんでした。



しかし、今年は2日間とも天候に恵まれ、青空の下で交流を楽しむことができました。

1日目は、野球・サッカーの団員はそれぞれの種目で、その他の団員はカローリングとドッジボールで交流し、夜は全員で花火を楽しみました。

2日目は、サッカーの団員は再びサッカーで交流し、その他の団員はヨット乗船を楽しみました。

2日間たっぷり交流を楽しみ、団員からは「すごく楽しかった!」という声がたくさん聞かれました。



金沢交流



昨年に引き続き、福光バスケットボールスポーツ少年団が金沢市に訪問し、交流会が行われました。勝ち負けはこだわらず、十分にバスケットボールを楽しめたのではないのでしょうか。午後からは、フリースロー大会や、合同チームでの交流試合などが行われました。団員たちは個々に交流を深め、楽しんでいました。大人になってもずっと友達でいたいですね。



今後の行事予定

平成28年 **2月21日(日)**

ジュニア王選手権大会+スポレクinなんと

同時開催!!

場所 福光体育館、福光中学校体育館

平成28年 **3月6日(日)**

指導者講習会 ペットトークを学ぶ

場所 福野体育館会議室

市民体育大会スキー競技の日程は未定

編集後記

今年は例年より早く紅葉が進んでいるように見える。利賀の山々を眺めていると、心の中から癒される。

「カシノナガキクイムシ」、「マイマイガ」などの影響で立ち木や葉が食い荒らされ、みじめな姿に不安を抱いていたが、自然界の摂理はどうであろうか。立ち枯れは見られるものの、元の姿に向かって復帰してきているように感じられる。

さて、現実にもどり南砺市では現在公共施設について再編計画の住民説明会が急ピッチで行われている。体育協会の関連施設も沢山該当している。30年後を見据えた計画であると言う。後世に禍根を残さないように、本当に必要なかを当局と一緒に考えて見極める時が来ている。

自然界の流れからみれば人間界は一瞬の出来事かもしれない。孫やひ孫がどのように評価してくれるかは分からないが、喜ばれることを信じて進むしかない。

利賀地域体育協会会長 笠野千尋

